

未来共創チーム会議の「未来の京都で大切にしたいこと」

1 つながる場が多様であり、それぞれがちょうど良い距離感で存在していること

(1) 説明・背景

鴨川や喫茶店、バーなど、公共空間ではないが、人々が集える空間や場所が、まちのいたるところに存在している。また、地元の人だけではなく、その空間や場所を知らない人でも、目的の有る無しに関わらず、自由に、気軽に立ち入ることができる。

また、そこでつくられた小さなコミュニティは、それぞれを支える人（≒ファン）が存在しており、お互いが近すぎず離れすぎず、ちょうど良い距離感を保ちながらも、ゆるやかかつ有機的なつながりを形成している。

そうしたコミュニティは、そこに飛び込んでも受け入れられるという安心感と、何かが生み出される、育まれるという期待感があり、京都が醸し出す異質なものに対する寛容さにつながっている。

こうした京都のまちの奥深さを引き継いでいくために、ひとびとがどう空間や場所を大切にしていきたい。

<参考：これまでの未来共創チーム会議の議論で参考にしたキーワード>

- ・つながる場が多様にある
- ・コミュニティの有機的な連動

(構成)

- ① 京都独自の価値観（＝タイトル）
- ② ①を取り巻く状況（①が生まれた状況、背景、他都市との違いなど）
- ③ 目指す姿

(2) 委員の主な意見



これは、あくまでも事務局の作成例です。

このような形で審議会に提出していくことをイメージして、これまでの議論を踏まえて、キーワード同士を組み合わせたり、選んだうえで、正確な意図が伝わるよう皆様に「大切にしていきたいもの」を自らの言葉で編集してください。